

## 2008一般入試展望



あけましておめでとうございます。2008年の幕開けとともに、1月4日から一般入試前期日程の願書受付がスタートしました。11月、12月の推薦入試で、畿央大学の各学科は大きく志願者数を減らしましたが、これは関西の私立大学全体の傾向だったようです。大学入試全体の易化傾向の中、受験生の推薦入試離れ、一般入試志向は強くなっているのか？ 畿央大学の一般入試はどんな入試になるのでしょうか。

## 推薦入試結果

KIO NEWS秋号、冬号で予想した通り、推薦入試の志願者数は、各学科で2割から4割の減少となりました。大学ごとの原因もありますが、私立大学の推薦入試全体がやや志願者減少傾向にあるようです。理由はいくつか考えられますが、AO入試の定員増や受験生の一般入試志向が原因と思われる。また教育学部現代教育学科で大幅な減少となっているのは、近辺の大学で教育学部の新設があったためと考えられます。

一方新設の看護医療学科は、健康科学部の中では理学療法学科に次ぐ志願者数となりましたが、今年度はAO入試やセンター利用入試を実施しない分、募集人員が多いので、倍率としては他学科と同レベルで、前期の合格最低点では健康栄養学科を下回っていました。

## 一般入試展望

## 〔理学療法学科〕

ここ数年、大学の施設や学部・学科の新設が相次ぎ、理学療法学科の難易度は大きくダウンしています。推薦入試の倍率はついに10倍を切りました。4年前に20倍を超えていたことを考えると、大幅な易化と言えますが、一般入試でも同様の傾向となりそうです。

## 〔看護医療学科〕

推薦入試と同様に、ある程度の志願者は集まりそうですが、初年度は一般入試各日程の募集人員が多いことから、比較的易しい入試となりそうです。看護系は教育学部と同様、国立大学との併願者が多くなりそうなので、3月まで入学者が動きます。場合によっては中期日程や後期日程がねらい目となることもありそうです。

## 〔健康栄養学科〕

資格志向のたかまりや女子の4年制大学進出の影響で、他系統に比べると倍率の高い管理栄養士系統ですが、資格志向がややおさまって、全体として易くなる傾向です。模擬試験の志望動向やオープンキャンパスの参加者数も、理学療法学科ほどではありませんが、やや減少傾向のようです。畿央大学に限らず、同系統は関西地区全体でねらい目となりそうです。

## 〔人間環境デザイン学科〕

建築系、インテリア系、アパレル系、環境心理学系、福祉住環境系の幅広い学科ですが、特に工学部以外で建築士1級の受験資格がとれる大学として、根強い人気があります。ただし、受験生の一般入試志向を受け

て、推薦入試の志願者数は大幅な減少となっています。これまでの入学手続き数が例年に比べて少なめと予想されることから、一般入試は広き門となりそうです。

## 〔教育学部現代教育学科〕

2年続きの教員養成系不人気に加え、近隣の大学の教育学部新設で、推薦入試から大きく志願者を減らしています。一般入試でも同様の傾向と予想されますから、強気でチャレンジするのがよいでしょう。国立大学の併願先として昨年なみの受験生を集める可能性はありますが、合格者数は増加すると思われるので、難易度的にみれば昨年を上回ることはないでしょう。

(大手予備校進路担当)

## ■入学試験日程

※看護医療学科はセンター試験利用入試を実施しません。

試験区分	受験会場	出願期間	試験日	合格発表日	
一般入試	前期日程	本学 東京 名古屋 大阪 広島 高松	1月4日(金)~ 1月16日(水)	1月24日(木) 1月25日(金)	2月1日(金)
	中期日程	本学 名古屋 大阪 広島 高松	1月28日(月)~ 2月8日(金)	2月17日(日)	2月23日(土)
	後期日程	本学 大阪	2月22日(金)~ 3月4日(火)	3月10日(月)	3月15日(土)
センター試験利用入試	前期日程		1月4日(金)~ 1月18日(金)	—	2月9日(土)
	中期日程	独自試験なし	1月28日(月)~ 2月8日(金)	—	2月23日(土)
	後期日程		2月22日(金)~ 3月4日(火)	—	3月15日(土)

## ● 12月9日(日) プレ・エントランスセミナーを開催しました ●

このセミナーは、入試合格者を対象に、入学前に大学のシステムやめざす進路について理解を深め、大学生活に向けてモチベーションを高めていただくために開催しています。12月9日に開催した第1回セミナーには104名が集まりました。まず入学前教育の対象者に「畿央大学e-learningシステム」の説明会を行ったあと、学生生活ガイダンスで入学直後のスケジュールや1回生の時間割例、奨学金、サークルなどを紹介。その後はいよいよ学科別ウォームアップ授

業。それぞれ特徴ある実習の中に畿央大学ならではの特長や授業の紹介などをおりませ、あっという間の90分でした。プログラム最後のフリータイムでは、プレゼントのお菓子を食べながら、先輩や教員と遅くまで話し込んだり、参加者同士でメールアドレスを交換する姿が見られました。

参加者アンケートでは98%が「来てよかった」と回答。来るまでに抱いていた不安が解消され、大学への期待が高まったことや、入学前に仲間がたくさんできたことが

一番の要因だったようです。

第2回プレ・エントランスセミナーは2月9日(土)に開催します。受験生のみならず、一日も早く合格通知を手にとられ、セミナーでお会いできることを心からお待ちしております。



# 2008年度入試問題傾向と対策

## 理科・地歴編

推薦入試もほぼ終了し、あちらこちらから合格の声が聞かれるようになりました。次はいよいよ一般入試。今号では秋号に続いて入試問題傾向と対策を、理科・地歴の2教科5科目についてお届けします。

昨年は新課程2年目の入試とあって、前年と同傾向の入試となりました。2008年度も大きな変動はないものと思われま

す。あくまでも学習の中心は教科書ですが、教科書を読むだけでは理解できない部分については、教科書と同時に、標準レベルで解答解説が詳しい問題集を併用してみてください。まずは問題を解いてみて、わからなければすぐ解き方を見て、疑問点があれば解説を読んだり、教科書に戻って確認していきましょう。わからなかった問題については、解説を読んでわかったつもりになっていることが多いので、その後また同じ問題に取り組み、自力で解けるようになるまで何度も復習を繰り返すこと。そうすれば、しだいに理解が深まっていき、しつかりと力が定着していきます。

問題演習がある程度進んだら、過去問に取り組み、傾向や難易度を把握しておくことです。また、センター試験の過去問も大変参考になります。センター試験には良問が多く、畿央大学の入試問題とも類似点が多いので、実践的な問題演習としては最適です。

### 【物理】

記号選択式で大問は4問、小問数は24～25問というのが一般的です。また第1問が小問集合、第2問～第4問では、主として力学分野、波動分野、電気分野が出題され、熱分野は小問集合のみで扱われています。出題範囲は、全学部・全学科で物理Ⅰのみで、全範囲からまれなく出題されています。

第1問は基本的な内容を中心とした小問集合問題で、センター試験よりやや易しく、第2問以降はセンター試験レベルかやや難しい問題も含まれます。とはいえ、各大問の前半は標準的な設問となっていて、後半も難問・奇問というわけではないので、基本事項を確実に理解しておけば、十分に対応できるでしょう。

### 【化学】

記号選択式で大問は4問、小問数は30問程度というのが一般的です。化学Ⅰの全分野から幅広く出題されています。

理論化学分野の出題は40%程度、無機化学分野、有機化学分野の出題がそれぞれ30%程度ですが、健康科学部と教育学部ということで、オキシドール、生理食塩水など、医療や健康に関する物質が出題される傾向があります。

第1問は基本的な内容を中心とした小問集合形式で、センター試験よりやや易しく、第2問以降にはやや難しい設問を含んだ大問もありますが、各大問の前半は基礎的で、後半はやや発展的な内容が出題される可能性があります。

### 【生物】

記号選択式で大問は4問、小問数は30問前後というのが一般的です。他科目と同じく、第1問が小問集合形式、第2問～第4問は大問形式で、選択肢の内容は語句選択や文章選択のほか、数値選択、グラフ選択、組み合わせ選択などさまざまですが、文章選択が目立つのが生物の特徴です。

大問ごとに易しいものから難しいものまで出題されていますが、

- ①教科書の知識から単純に正解が得られる設問50%
  - ②教科書の知識をもとに、洞察力や応用力を使って正解を導く設問35%
  - ③実験や観察の記載文・図・グラフなどから生命現象を分析し、考察する力により正解を導く設問15%
- となっており、全体的にはセンター試験と同レベルと言えます。

### 【日本史】

4大問構成で1大問当たり9小問構成、計36小問となっており、すべて4択の選択形式です。出題形式では、リード文中の空欄を補充する空欄補充組み合わせ問題、年代整理問題、事柄と人物の組み合わせ問題、語句選択問題が主で、文章選択問題や文正誤判定組み合わせ問題も出題されています。特に単純語句選択や語句選択の組み合わせ問題が多くを占めているのが特徴です。文章選択問

題がセンター試験に比べると少ないので、その分センター試験よりもう少し易しい出題といえるかもしれません。また、出題頻度の高い語句選択問題については、正解の語句も誤りの選択肢の語句も教科書に必ず掲載されていると思って良いでしょう。

出題分野では、古代から近現代まで教科書から幅広く出題されています。第1問には、通史的なテーマ問題が、第2問は古代・中世、第3問は近世、第4問は近現代の順で、センター試験の出題順と似ています。時代分野もバランスよく出題されていますし、また、政治・外交・社会経済・文化の4分野のすべてが出題されています。

問題は基本的なものですが、語句選択問題でケアレスミスをしないうこと。頻出の資料問題も教科書や一般的な資料集レベルなので、資料中のキーワードからその資料が何かを想起できるようにしておきましょう。

### 【世界史】

4大問構成で40小問程度となっており、出題形式では、語句選択、文章選択に加え、2文正誤、並び替え、組み合わせなど、さまざまな形式で出題されています。

時代は、古代～現代まで幅広い時代の出題となっていますが、現代史では、戦後史まで問われることもあります。分野としては、政治史中心の出題が特徴ですが、文化史や社会経済史からの出題も考えられます。また地域は、ヨーロッパ・中国を中心とした出題ですが、南アジア・東南アジア・西アジアをテーマとして扱った大問もみられます。

日本史同様、語句選択・文章選択を中心とした形式が多く、内容も基本事項を問うているので、教科書を中心とした学習で十分対応できます。単純語句選択や語句選択の組み合わせ問題が多くを占めているのが特徴で、文章選択問題の多いセンター試験に比べると日本史同様、少し易しい出題といえるかもしれません。

浅く広い出題が特徴なので、やり残さないよう、教科書や参考書は隅々まで目を通してください。特に、同時代の諸地域の横のつながりには十分注意しましょう。

速報

第2弾!!

## 健康科学部 4 回生の就職内定状況

理学療法学科の内定が  
ペースアップ!理学療法学科 **53.1%** 健康栄養学科 **97.1%**  
人間環境デザイン学科 **91.5%** (2007年12月19日現在)

前号に引き続き4回生の就職状況をお知らせします。10月頃から本格的に活動が始まるため、前号では約20%だった理学療法学科の内定率が、急ピッチで動き始めました。12月19日現在で半数以上の学生が就職先を決定しています。一方、健康栄養学科と人間環境デザイン学科については、大詰めをむかえています。今号は内定を勝ち取った先輩の声をお届けします。



## 理学療法学科 問可智恵美さん (千里リハビリテーション病院内定)

大学では、たくさんの方を学びましたが、4年間で特に印象に残っているのは臨床実習です。実際に患者様と接し、改めて理学療法士という仕事の責任、重みを感じました。同時に患者様の笑顔に出会えたときに、大きな喜びと理学療法士としてのやり甲斐を感じ、今まで以上に理学療法士を志す気持ちが強くなりました。また3ヶ所の実習では、自分の理想とする理学療法士像や将来自分がどのような病院で働きたいか考えることができ、就職活動に役立てることができました。まず将来自分が何をしたいか、どんな理学療法士になりたいかを明確にすることが大切だと思います。そうすることにより、今自分が行っていることへの姿勢も変わってくるのではないのでしょうか。



## 健康栄養学科 西島真貴子さん (【株】キューピー内定)

大学では、健康科学部健康栄養学科で食べ物についての知識を授業や実習、実験を通して学びました。実習や実験は大変だけれど、畿央大学はクラス制なので楽しく授業を受けることができました。就職活動を始めたのは3回生の秋ぐらいからで、最初のうちは合同企業説明会に行っていました。私は大学で学んだことを就職に活かしたかったので、主に食品関係の会社を探しました。就職活動では、何事にも前向きに取り組み、自分らしさを出せるように心がけました。



## 人間環境デザイン学科 西田恵美加さん (【株】大和ハウス工業内定)

私は幼いころから、なんとなく家に関する仕事がしたいと思っていましたが、大学受験当時はまだ漠然としていました。畿央大学入学後建築の講義を受け、設計や施工について学んでいくうちに、むいていないのではないかと悩むこともありましたが、しかし、先生方が建築の面白さを教えてくださいました。あきらめなくて「将来は絶対ハウスメーカーで働きたい!」という決心ができました。建築業界の仕事に就くことは、女性にとって様々な障害があり、悔しい思いを何度もしました。そんなときによく利用していたのがキャリアセンターです。面接のシミュレーションや履歴書の書き方、就職活動に関する悩み相談では、的確なアドバイスをいただき、次もがんばろうという自信につながりました。春から念願のハウスメーカーの営業としてスタートできることになりましたが、大学時代に学んだことを糧に、笑顔を絶やさず、お客様から好かれる営業社員になりたいと思います。

理学療法学科の  
主な内定先

琵琶湖中央病院/近江温泉病院/京都九条病院/京都武田病院/西京都病院/京都民医連中央病院/千里リハビリテーション病院/大阪回生病院/新生病院/東大阪山路病院/鶴見緑地病院/摂南総合病院/平成記念病院/奈良春日病院/奈良友誼会病院/済生会御所病院/紀和病院ほか

## サークル紹介

## ビーチフットサークル

僕たちビーチフットサークルは、毎週月曜日と木曜日の週二回、18時から21時までグラウンドで練習しています。ビーチフットというのは、1990年に日本でできた大変新しい競技で、砂浜で5人对5人でプレイする、ラグビーとアメリカンフットボールをミックスしたようなスポーツです。またラグビーのような危険なタックルなどはな

く、誰でも簡単に楽しめるのが特徴です。僕たちは基本的にはグラウンドで練習を行っていますが、月に一度、兵庫県の芦屋浜や和歌山県の片男波ビーチに行って他のチームと試合をしたり、公式戦に参加したりと積極的に活動しています。裸足でボールを持って、砂浜の上を自由に走りまわる最高の感覚は、他のスポーツでは味わえませんが、興味のある方は是非一緒にビーチフットをしましょう!





理学療法学科

## 介護予防プロジェクト「KIO元気塾」

KIO介護予防プロジェクトは第2期目を9月10日から開始しました。実施日は週2回各2時間です。参加者は、中枢神経疾患の方が4名、末梢神経疾患の方が1名です。ほとんど毎回参加されていて、理学療法学科・健康栄養学科の学生たちとの交流も楽しんでいらっしゃいます。

ところで、我々のプロジェクトに参加している人は、国の言う「介護予防事業」の対象者のみではなく、要介護の人も含んでいるのが現状です。従って、今回から「KIO元気塾」という名称に変更しました。新たな名称でより多くの人々との取り組みをすすめていきます。



人間環境デザイン学科

## 「みんなでつくろう三輪駅前広場」に参加

今年度から2・3年生共同のプロジェクトゼミが始まりました。その中の一つのグループは地域の有志の集まり「三輪座」が主催する住民参加で、三輪駅前を具体的にデザインするプロジェクトに参加し、「三輪駅前広場デザインゲーム」にとりかかりました。まず第1回目は駅前広場を持つ役割や広場づくりのコンセプトづくりのための

話し合いです。小学生から高齢者まで50人以上の人たちに混ざり、学生たちも活発に意見を述べ、まとめの発表も行いました。次回からは、町を歩き、イメージづくりなどのワークショップを行います。実際のまちづくりの現場に携わり、有意義な時間を過ごせることと思います。



人間環境デザイン学科

## 大橋一真さん、厚生労働大臣賞を受賞

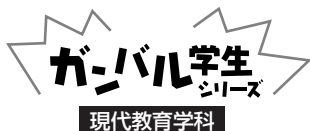
本学人間環境デザイン学科3年生の大橋一真さんが、第26回「肢体不自由児・者の美術展」で特賞にあたる厚生労働大臣賞を受賞しました。昨年開催した個展の様子は2006年秋号でも紹介しましたが、大橋さんは病気で腕や手にあまり力が入らず、移動には車椅子を使用しています。絵は4歳の頃、母ゆふみさんが「病気に負けず、何か打ち込めるものを持ってほしい」と近くの絵画教室へ連れていったのが始まりで、これまでに多くの絵画展で入賞しています。

今回の受賞作品は、絵画教室の先生が持っていた操り人形をモチーフに、くぎで線や輪郭を描くスクラッチ技法を用いて、約5カ月かけて制作しました。受賞については「うれしさと、まさかという気持ちでいっぱい」と喜びをかみしめていました。

入賞作品は12月6日から9日まで袋袋の東京芸術劇場にて展示され、初日には日本肢体不自由児協会総裁である常陸宮殿下で臨席のもと、作品鑑賞および表彰式が行われました。



受賞作品「タイの人形」を制作する大橋さん



現代教育学科

## 多様な人との関わりを経験できる学校インターンシップ

昨春、全学部対象の学校インターンシップがスタートしました。参加学生は前期38名、後期78名です。協定校も前期の大和高田市、奈良市、堺市の他に、後期は広陵町、香芝市も加わりました。週に1~2回の経験ですが、それでも学生の変化には目を見張るものがあります。

最初の頃は、様々な障害のある子どもに

どう接して良いのか分からず右往左往したり、一緒に遊ぶことはできても叱ることがうまくできずに悩んでいた学生もいましたが、多様な人々と関わる方法を徐々に獲得していく姿がみられました。

このような経験は学生の時期だからこそ出来る貴重なものといえるでしょう。

